



《教育目標》 『自立』 『協働』 『向上』

《目指す生徒像》 ○ たくましく、自立する生徒 ○ 互いに協力し、高め合う生徒 ○ 志高く、自己実現を図る生徒

＜保護者の願い＞

- ・ 自他を大切にし、いじめのない安心・安全な学校
- ・ 生徒の学力をきちんと育ててくれる学校
- ・ 基本的な生活習慣、規範意識を育ててくれる学校
- ・ 愛情をもち、組織的に生徒を育ててくれる学校

志高く協働し
向上する生徒
《重点目標》

＜地域の願い＞

- ・ 地域にとって身近な「学びの拠点」となる学校
- ・ 教育活動に協力し、支援したくなる学校
- ・ 地域活動を通じて交流し、ふれあうことのできる学校

目標を達成するための具体的な方策

豊かな心

【思いやりの心と自己肯定感の伸長】

- いじめ・不登校を生まない風土
 - ・ いじめ・不登校の予防、早期発見と適切な初期対応のための校内体制の確立
 - ・ 「考え、議論する」道徳科の授業の実践
- 人の気持ちを考え、思いやりのある行動をとることのできる生徒が80%以上
- 学校行事で成長する生徒
 - ・ 行事の事前事後指導等の充実による学級の支持的風土づくり
 - ・ 多面的な理解に基づく、心に寄り添う指導の充実
- 学校行事を通して充実感や達成感を得ている生徒が90%以上
- 自分にはよいところがあるとする生徒が70%以上

確かな学力

【豊かな学びと深い思考の実現】

- 資質・能力を育む授業
 - ・ 現代的な諸課題に対応し、学習の基盤となる資質・能力の育成
 - ・ 単元を見通した評価場面や評価方法の工夫
- やっていることを先生や友達に認められて、うれしいと感じる生徒が80%以上
- 「深い学び」の実現に向けた授業改革
 - ・ 各教科等の「見方・考え方」を働かせながら、より深く理解するための学習過程の質的改善
 - ・ 「各教科等のグランドデザイン」の作成
- 自分で考え課題を解決したり、自分で判断して行動したりできる生徒が80%以上
- 自分の考えをすすんで伝える生徒が60%以上

健やかな身体

【体力と健康に対する意識の向上】

- 健康・安全で活力ある生活
 - ・ 授業や部活動を通じた体力・健康づくりの充実
 - ・ 家庭や地域と連携した健康教育・安全教育の計画的な実施
- 体を動かして遊んだり、運動・スポーツをしたりしている生徒が80%以上
- 基本的な生活習慣の確立
 - ・ 睡眠時間7時間の生活習慣の確立
 - ・ メディアコントロールに関する指導
 - ・ 家庭と学校の連携による食育の推進
- 睡眠時間が7時間以上の生徒が70%以上
- ふだんのゲーム、インターネット等の時間が1時間未満の生徒が60%以上

配慮を必要とする生徒への指導

多様な学びを保障する
特別支援教育の推進

- ユニバーサルデザインの視点に基づいた環境整備と授業づくり
- 生徒一人一人の教育的ニーズに寄り添った合理的配慮の提供
- 職員の専門性を高めるための職員研修の実施と関係機関との連携

指導体制の充実

- 育成を目指す資質・能力を育む授業づくりの推進（校内研修）
- 人権教育、同和教育の推進（人権週間）
- 働き方改革を意識した勤務環境の改善（部活動ガイドライン等）
- SC、SSW、区教育支援センター等関係機関との連携・協働
- アフタースクール学習支援事業の活用（学び直し・発展学習）

家庭・地域・学校間の連携

- 家庭学習・読書習慣づくり（家庭学習強調週間、読書週間）
- 地域と学校パートナーシップ事業の推進（地域教育コーディネーター）
- 小中一貫教育の推進（コミュニティスクール事業を中核とする）
- 総合的な学習の時間（ST）の推進（校外学習、地域探究学習）
- キャリア教育の推進（職場見学、職場体験学習）

安心・安全（命を守る教育）

- 想定される災害対応の訓練の実施
- 救急救命法研修の実施（心肺蘇生法、AED、エピペン）
- 毎月の安全点検
- 登下校の安全指導（交通安全教室）

社会に開かれた学校づくり

- 学校支援ボランティア（「二中学校応援団」）による学習支援
- 学校評議員会・学校サポートチーム等での地域の声の反映
- 学校評価アンケートの実施
- 学校の取組を地域へ発信（学校だより・ホームページ）

「学校経営の基本方針」

◇ 生徒が楽しく充実した生活を送れる学校 ◇ 保護者や地域から信頼され期待される学校 ◇ 職員が生きがいをもって働ける学校
☆ コミュニティスクール（学校運営協議会）導入により「地域とともにある学校」への転換